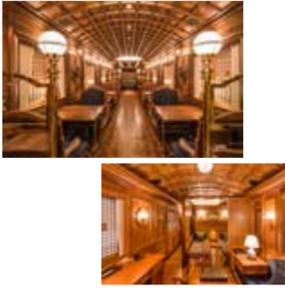


建築・空間分野 | その他 022

クルーズトレイン「ななつ星IN九州」
九州旅客鉄道(株)



概要
九州の風土を乗せ、まだ知らない九州の人・事・物とめぐり逢える旅。そのため、デザインコンセプトは「懐かしくて新しい旅。」としました。色についてはアースカラーを基本とし、素材色を活かし、形は伝統様式を重視し、床・壁・天井・家具など全てがつくられています。石・木・土・竹・ガラス・鉄・和紙やその天然素材を使い、車内で目に見える物の99%が「ななつ星IN九州」のためのオリジナル製品です。特に匠、芸術家、いずれも最高の方々とのコラボレーションでいまだかつてない、二度とつくれないかもしれない車両が出来ています。

評価ポイント 贅を尽くした車両は非日常感を演出し、同時に木づかいの最高の技を感じられるという点で貴重なものである。

建築・空間分野 | 集合住宅 019

ヨーロッパにおける大規模木造老人ホームを始めとした在来軸組工法建築物
すてきナイスグループ(株)



概要
すてきナイスグループの現地法人ステキヨーロッパが建築を進めている、ベルギー最大規模の木造建築物となる4階建て、延べ床面積約7,000㎡の大規模複合老人ホームです。日本で育まれた在来軸組工法の環境性や耐震性、精度、設計の柔軟性などが高く評価され、ナイスグループオリジナルの集成材木工法(パワービルド工法)が採用されました。ナイスグループでは、このほか、ベルギーやフランスなどで同工法による住宅建築に携わっています。

評価ポイント 海外における木造4階建て大規模木造建築という意欲的な試み。プレカット構法を含めて海外で展開している点はユニークである。

建築・空間分野 | その他 023

ベニアハウスプロジェクト
(株)小林・横デザインワークショップ、慶應義塾大学大学院小林博人研究会



概要
ベニアハウスは、東日本大震災後に生まれた、早く安く簡単にセルフビルドで建設できる構法。世界中で手に入るベニア合板から切り出した、人が手で運べるサイズのパーツを、特殊な技術や工具なく組み立てることで建物フレームが建設できる。データの共有で同質なものを個人が、プラモデルのように素人が建設できることから、家づくりが「自分ごと」となり、また協力して施工する過程がコミュニティや地域文化を育てることもつながる。現在国内外で5軒が竣工。

◆価格:330万円/100㎡(参考価格、外装含、施工監理費除)、入手先:KMDW/株式会社小林・横デザインワークショップ <http://www.kmdw.com>

評価ポイント 合板を使ったセルフビルド方式という、メッセージ性あるユニークな取組である点を評価した。

建築・空間分野 | 屋内空間 020

名古屋大学多世代共用スペース
名古屋大学未来社会創造機構まちづくりミニプロジェクト



概要
「子どもと居ながら働く」というワークとライフのあいだの空間を考案し、課題発見のための子連れワークショップから、事例調査、設計、施工、運用ルールづくり、開後のワークショップや利用状況調査まで一貫して取り組んだのが、名古屋大学多世代共用スペースである。研究棟の100㎡の部屋を使い、愛知県産の2m短尺杉材を有効活用、学生教職員のセルフビルド、利用者親子のペインティングにより2015年6月に完成。子どもを連れたの仕事や打合せ、交流ができる空間である。

◆価格:100万円、入手先:株式会社杉生 <http://tasedai.wix.com/tasedai308>

評価ポイント 学生や利用者が関わりながら、使いたい空間をデザインするというプロセスが良く、建築家の発想ではなかなか出てこない空間づくりに成功している。

建築・空間分野 | その他 024

地域産小径丸太材による屋根付き駐輪場
古川忠稔、名古屋大学工学部施設整備推進室、堀内建築構造設計事務所



概要
間伐材の採算性向上と高付加価値化を目指し、都市部・農村部で需要が多い屋根付き駐輪場を創案した。3本の丸太材を立体的にクロスさせた柱材と屋根梁材により強度剛性を確保し、通直材の組み方と仕口加工・金物接合の工夫で少人数での資材運搬と組立を可能にした。ユニット部材のため、部品交換管理が容易で、個人宅~公共施設まで利用状況に応じた設営展開が可能。

◆仕様:2スパン(L=6000)4スパン(L=11000)、価格:45万円(2スパン)60万円(4スパン)、入手先:協同組合「健康木の住まい」"ウッド・ビレッジ" 事務局 <http://www.dali.nuac.nagoya-u.ac.jp/furukawa/other/mokuken.html>

評価ポイント 駐輪場と地域材活用を組み合わせたシステムとして面白い。小径木の用途開発の新提案として評価できる。

建築・空間分野 | 屋内空間 021

【座YATAI】プロジェクト 集成材多目的ユニット
日本集成材工業協同組合、武蔵野美術大学、(株)内田洋行、パワープレス(株)



概要
日本集成材工業協同組合と武蔵野美術大学との産学共同【座YATAI】プロジェクトに、内田洋行が協力して発案・制作されたものです。スギ造作用集成材や化粧びじり集成材を利用して、集成材ならではの曲げ加工によるR等の曲線を多用し、扇形のデザイン性を高めたユニットです。日本には集いや宴を楽しむ文化がありますが、身近な催事や商業施設、オフィス・生活空間等に適用する新たな「和楽スタイル」としてご利用いただけます。

◆仕様:集成材と接合金物を利用した構造で簡単に組立可能、価格:150万円~200万円、入手先:日本集成材工業協同組合 <http://www.syuseizai.com>

評価ポイント 産学のコラボレーションによって生まれた集成材の多目的ユニットで、連携の成果を評価する。誰でも組立て、設置しやすい点は幅広い用途が見込まれる。

建築・空間分野 | モデルハウス・ショールーム 016

熊本・木土間のある家
新産住拓(株)



概要
熊本の木を中心に100%国産の天然乾燥材(主要構造材)、森林認証材を活用し地域に根ざした循環型の木空間デザイン。「木土間」とは土間のように使える空間ながら、床と壁を板張りにしウチとの関係性を深めた空間。ソトの緑を介し庭と緩やかにつながる。木格子戸により、光・風、視線をゆるやかに調整する。「木土間」は住まいの可能性を敷地全体へ広げ、豊かな暮らしが育まれる場所となる。

◆仕様:構造材:国産杉(土台のみ国産松)、準構造材:国産杉、造作材:国産杉及び松、下地材:国産杉、仕上材(床):国産杉、外装材:国産杉、価格:2,800万円 <http://www.shinsan.com/>

評価ポイント 中間領域という発想、地域性を取り込む工夫など、暮らしの提案に細部にわたり真摯に取り組んでいる感がある。

建築・空間分野 | 公共施設 013

上熊本駅改築
九州旅客鉄道(株)



概要
上熊本駅は、熊本県による連続立体交差事業によって高架化され、平成27年3月に完成した。駅舎のデザインは水戸岡鋭治氏が監修し、木材をふんだんに使った「ぬくもり」を感じる駅とした。地域の材料である県産材を用いるために熊本県・熊本市と共に検討を重ね、県産材の松を防風スクリーンに、杉をホーム天井に使用し、駅を利用するお客さまや地域のみなさまが、木の温かみ、木材空間の快適性を再認識することを期待している。なお、大正時代の旧駅舎は、地域住民の要望により、平成17年度に熊本市交通局の駅舎上家として一部保存移築している。

評価ポイント 日常的に利用される駅を地域材を活用して改築しており、地域に愛されるための工夫を施す姿勢に共感する。

建築・空間分野 | 戸建住宅 017

ATMN
アーキラボ・ティアンドエム、(株)丸紫 赤坂建築、佐藤木材工業(株)モク構造設計室、物林(株)、積水化学北海道(株)、m.a.p



概要
北海道札幌市に建つ住居兼アトリエ。間口2mの旗竿地は、暗く閉ざされ周辺から取り残された印象でしたが、隣地には広い庭や空き地があり窮屈には感じられなかったため、隣地の余白も取り込み適切に開放しながら、全天空照度の恩恵を受けた柔らかな空間をめざすことにしました。震災以降、建物から街にじみ出る光について考えています。このように奥まった場所に建つ小さな住宅からのわずかな光でも、いつもそこにあつて、誰か、何かを照らしていられたらと思っています。

◆仕様:木造平屋 75.3平方メートル <http://www.archilab.jp/>

評価ポイント 空間の考え方を含め、意匠性に優れている。杉・ヒノキ以外の樹種の活用の提案につながっている。

建築・空間分野 | 公共施設 014

日田駅リニューアル
九州旅客鉄道(株)



概要
大分県で平成27年度に行われたディスプレイーションキャンペーンに併せ日田駅のリニューアルを実施した。実施にあたっては大分県及び日田市からは感じられなかったため、隣地の余白も取り込み適切に開放しながら、全天空照度の恩恵を受けた柔らかな空間をめざすことにしました。震災以降、建物から街にじみ出る光について考えています。このように奥まった場所に建つ小さな住宅からのわずかな光でも、いつもそこにあつて、誰か、何かを照らしていられたらと思っています。

評価ポイント 地域の駅を地域材をフル活用して地域の顔にするという、地域における木材利用への気付きを与える取組。こうした取組が増えることを期待する。

建築・空間分野 | 量産型住宅 018

グッドストロング工法
(株)日本ハウスホールディングス



概要
国産材の積極的活用は、全国一律の性能や品質の実現、調達コストを求めた場合、住宅会社には皮肉にもハードルは高い。当社は創業当初より国産材による木造住宅の提供にこだわり、平成23年3月、東日本ハウス木材調達指針を打ち出し、適正な木材調達、環境に配慮した木材調達、安心安全な木材調達に取り組む。木造でも現代の家は耐火性能や断熱性能から木を実感しにくい、必要な性能を持つつつ木の持つ良さを体感できる真壁構造にも力を入れ、伝統建築物に見られる開放的な空間も作り出している。

◆価格:坪750,000円~、入手先:日本ハウスHD各店

評価ポイント 耐震性能と木の良さを実感できるつくりを両立させ、可変性を持つ量産型住宅へ活かすシステムとして評価できる。

建築・空間分野 | モデルハウス・ショールーム 015

木かげ —「てまひま」をかけた熊本の木の家—
新産住拓(株)



概要
「庭木がつくる陰」と大きな開口部で繋がる「室内に写る陰」は、自然と人、人と人の創造性豊かな繋がりを生む「木かげ」となる。映るのは、熊本県産の杉でつくられたウッドデッキと地元石の自然素材。低木を差し、壁と床だけで構成される余白を残した空間は、創造性と自由性を育む。庭木や木材は「近くの山の木」を使い「てまひま」をかけて作る心地よい暮らしを提案。

◆仕様:構造材:国産杉(土台のみ国産松)、準構造材:国産杉、造作材:国産杉及び松、下地材:国産杉、仕上材(床):国産杉及び松、外装材の一部:国産杉、価格:4,000万円(総事業費) <http://www.shinsan.com/>

評価ポイント 外を楽しむという暮らしや育みのコンセプトに基づいたデザインが明快でよい。過度な空間提案を避け、自由度の高い設け込みにしている。